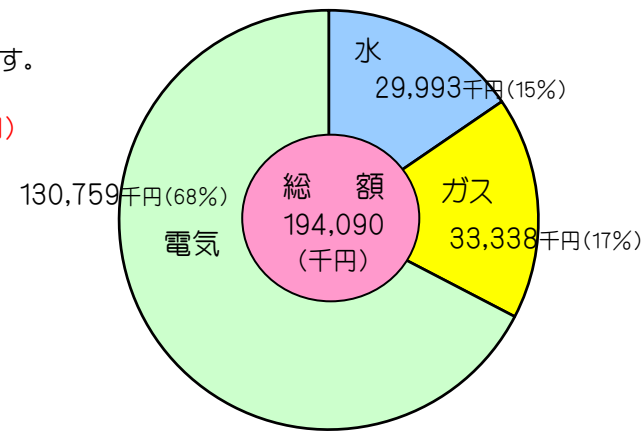


(令和元年度)大塚キャンパスにおける光熱水量の推移

○ 光熱水量の現状について

- 光熱水量の現状は、下記のとおりです。
- (1) 大塚キャンパスの電気・ガス・水道の昨年度の年間費用は約1億9千万円/年です。
 - (2) 電気・ガス・水道の使用料金を1日に換算すると約53万円/日の費用です。
(電気:約36万円/日、ガス:約9万円/日、水道:約8万円/日)
 - (3) 電気使用量は、ここ数年は削減傾向となっています。
 - (4) 水の使用量は、ここ数年は横ばい傾向となっています。
 - (5) ガス使用量は、ここ数年は減少傾向となっています。



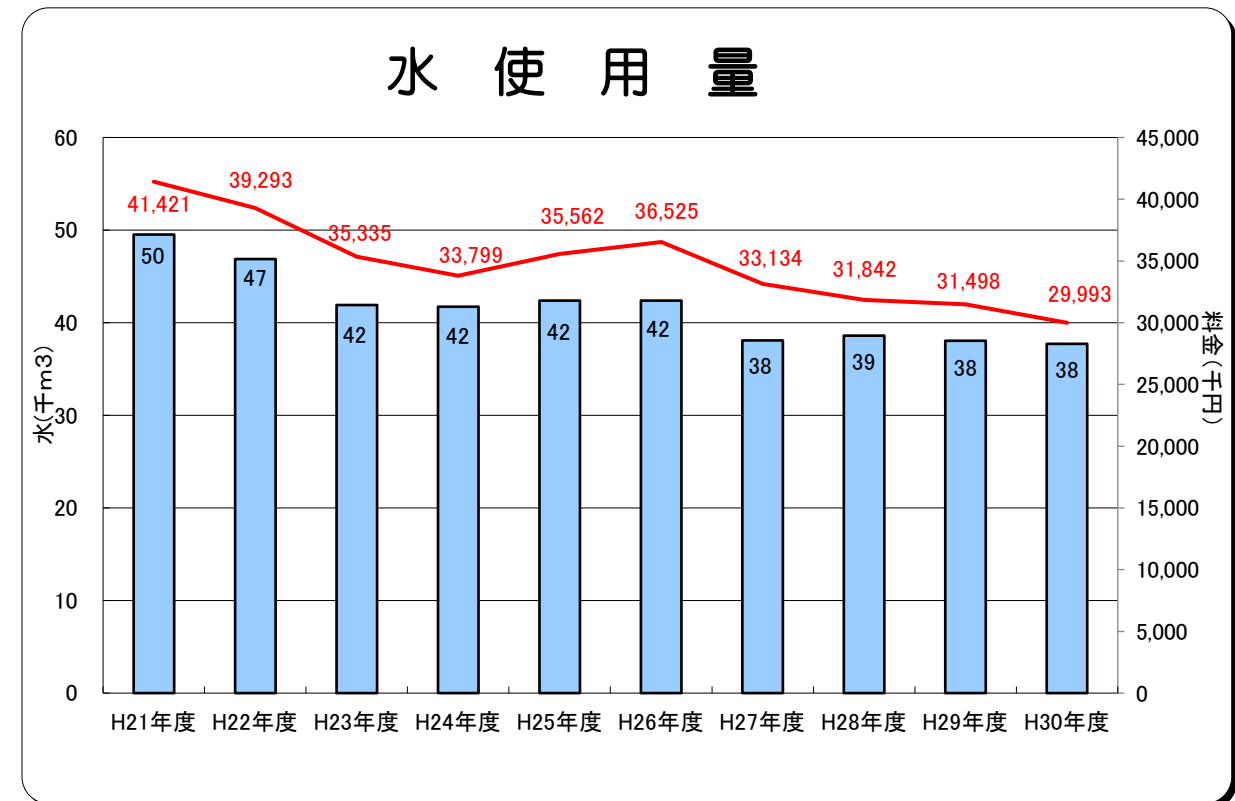
昨年度の光熱水使用料金

○ 省エネルギー対策について

- 下記の省エネルギー対策を積極的に行っています。
- (1) 10年以上経過したエアコンを最新型に順次更新しています。
 - (2) 老朽化した蛍光灯型照明器具をLED型に順次更新しています。
 - (3) 建物の新築や改修時には壁や屋上に断熱材を設置して、建物の断熱化を行っています。
 - (4) 蒸気暖房を廃止して、ガス式エアコンに順次改修しています。
 - (5) 省エネルギー対策の一環として毎年、教職員の夏季一斉休業を実施しています。(計5日間)

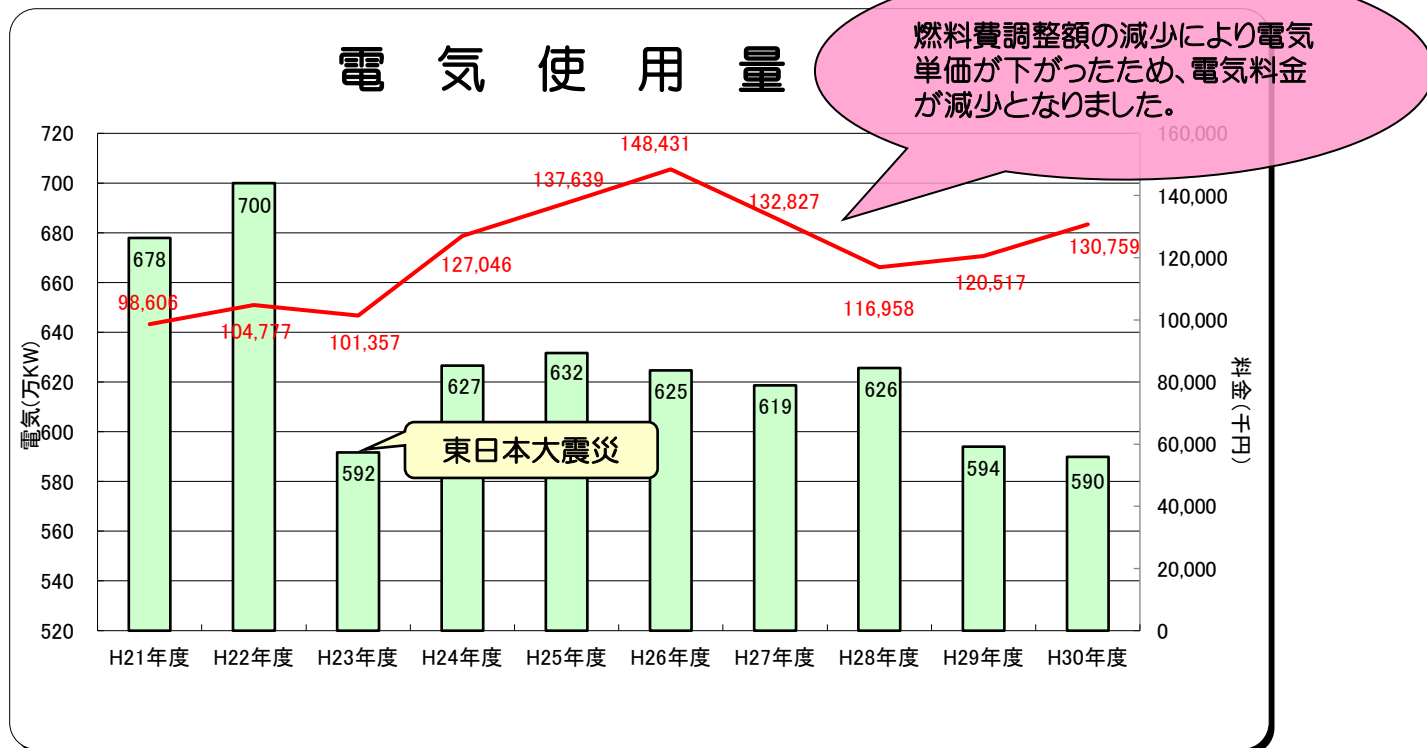
○ 省エネルギーの協力について

- 光熱水使用量・料金の現状、省エネルギー対策などについてご理解いただき、今後も省エネルギーにご協力下さい。
- (1) 教室や実験室が使い終わったら、必ず照明やエアコンを停止して下さい。
 - (2) エアコン使用時の室温は冷房時28℃・暖房時20℃として下さい。
 - (3) トイレの暖房便座は「節電モード」で使用して下さい。
 - (4) 使用していない電気製品はコンセントから抜いて下さい。
 - (5) 建物内の移動で1階～3階程度の上下の移動は、エレベーターを使用しないようご協力下さい。



<水使用量の解説>

定期的な漏水調査及び修理を行うことにより、節水効果がでています。各建物のトイレを順次、節水機器に改修して、水の使用量の削減に努めています。

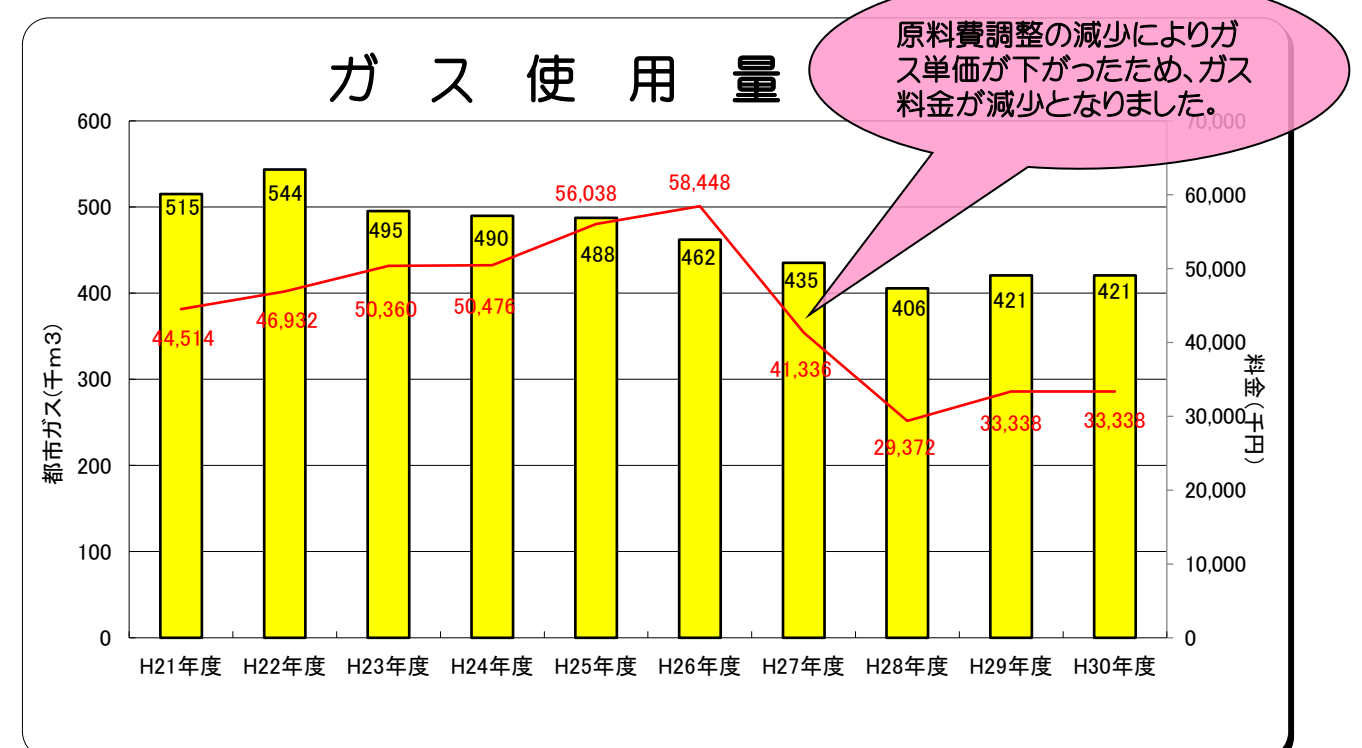


燃料費調整額の減少により電気単価が下がったため、電気料金が減少となりました。

東日本大震災

<電気使用量の解説>

ガス式エアコンの採用やLED照明に取替え、廊下やトイレ照明の点滅を人感センサー式に改修して、節電に努めています。



原料費調整の減少によりガス単価が下がったため、ガス料金が減少となりました。

<ガス使用量の解説>

建物改修時には、ガスコンロを廃止して、IHコンロに切替えたこと、又暖房用ボイラーの供給範囲を見直したことにより、使用量が減少傾向にあります。